

# 基礎分野

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
論理学	講義 演習	1単位	30時間	1年後期	森 龍之介
実務経験のある教員による科目					

**授業概要**

対象である人間について理解していくための根幹となる部分である。看護師としての幅広い教養を身につけることによって、人間理解の視野を広げ、患者をより深く尊重し、その心の動きにも目を向けることができることを目指している。そのため科学的なものの見方や捉え方を学び、看護の共通概念を柱に立てながら、その上に専門分野を積み重ねて学んでいけるようにする。学習進度は学生の成長や体験にそって段階的に教授していく。

**到達目標**

論理的な思考の形成及び法則を学び、読解力を深め、文章で表現できる能力を養う。

**事前学習・事後学習**

事前学習：次時の学習内容について調べ学習を行う。  
事後学習：授業後の振り返り学習を行う。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
			◎			○

回数	単元	内容	担当教員
1	論理学とは	論理学とは何か 推論と推測の違い	森
2	ロンリの力	三段論法について、文章要約力 文章力テスト1	森
3	ロンリの力	誤った前提 危険な飛躍について 文章力テスト2	森
4	ロンリの力	逆さまのロンリについて 文章力テスト3	森
5	ロンリの力	接続表現 ことばをつなぐ 文章力テスト4	森
6	推論と推測	論理的であること 非論理的であること 推測・推論の違い	森
7	文章要約	文章要約の模範解答と要約のポイント 三段論法等の小テスト	森
8	文章要約	文章要約の模範解答と要約のポイント 事実と意見 エビデンス説明	森
9	文章要約	文章要約の模範解答と要約のポイント キーワードを探す、5W1H及び論証問題	森
10	演繹的推論	演繹的推論 論証問題	森
11	演繹的推論	演繹的推論 小テスト	森
12	否定の論理	否定の論理 ゼンメルワイスの仮設形成	森
13	類似法	類似法 合意形成 文章要約	森
14	資料分析	資料分析(帰納)学習内容まとめ	森
15	まとめ	授業の振り返り	森

<b>評価</b>	客観式試験(100点)
<b>テキスト</b>	
<b>参考図書等</b>	ロンリのちから (NHK『ロンリのちから』制作班著)
<b>留意事項</b>	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
情報リテラシー	講義 演習	1単位	30時間	1年前期	松尾 育子・森下 鮎美
実務経験のある教員による科目					

### 授業概要

社会の情報化が急速に進む中、医療におけるICT(Information and Communication Technology)活用はますます加速している。本科目ではコンピュータの基本的操作を学び、情報を管理するための基本的な文書処理や、数値処理の仕方を修得するとともに情報を利用する場合の留意すべきことも学修する。さらに医療者としてインターネットや、ソーシャルメディアの特徴をよく知り、リスクを回避しながら賢く活用できるようになることを目指す。

### 到達目標

1. コンピュータの基本操作(文字入力)を学びワードで文書が作成できる。
2. コンピュータを使用して図表作成や基本的な数値処理の仕方が習得できるができる。
3. PowerPoint資料作成することができる。
4. 医療情報のリテラシーについて説明できる。
5. インターネットや、ソーシャルメディアの特徴を知り、健康医療情報活用することができる。

### 事前学習・事後学習

事前学習: 該当箇所を予習し、資料を調べて授業に臨む  
 事後学習: 当日の該当テーマに沿って復習・まとめをする

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
					◎	

回数	単元	内容	担当教員
1	情報に関するモラル 文章入力とファイル管理	ガイダンス 情報リテラシーとは、情報セキュリティとは、 情報に関するモラル タイピング ファンクションキーの使い方	松尾
2	文字入力とファイル管理	表の作成 表示形式	松尾
3	表の作成 表示形式	文書の作成 編集	松尾
4	図形とイラストの挿入	図形の作成	松尾
5	集計表の作成	Excel基礎 数式の作成	松尾
6	関数を使った表計算1	SUM AVG MAX MIN関数	松尾
7	データとグラフ	グラフ作成 DATEDIF VLOOKUP	松尾
8	プレゼンテーションの作成	PowerPoint資料作成	松尾
9	プレゼンテーション①	作成したPWの発表①	松尾
10	プレゼンテーション②	作成したPWの発表②	松尾
11	医療情報システム概論	医療情報システム 電子カルテシステム 事例1を通して考える	森下
12	医療情報システム概論	医療情報システム 電子カルテシステム 事例2を通して考える	森下
13	医療情報リテラシー	医療従事者に求められる情報リテラシー 情報倫理 OECD8原則 患者の権利に関するWMAリスボン宣言/世界医師会	森下
14	医療情報リテラシー	医療従事者に求められる情報リテラシー 事例3を通して考える	森下
15	電子カルテシステム	電子カルテ内容の実際	森下

評価	客観式試験(松尾:100点)
テキスト	系統看護学講座 別巻 看護情報学 (医学書院)
参考図書等	
留意事項	

授業科目名	授業形態	単 位	時間数	配当年次	担当教員
心理学	講義 演習	1単位	30時間	1年前期	畑中 美穂
実務経験のある教員による科目					

授業概要
人間には様々な側面があるが、その一つである心理的側面は外からは直接見ることはできない。しかし身体の行動とは密接な関係があり、他者とのコミュニケーションを通して共感したり葛藤がおきたりする。本科目では人間の心理や行動の基礎にある原理を学ぶことで、心理学の面白さを感じ、人間理解の方法について学修する。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護における人間の理解は、心とからだのどちらも欠くことができないものだと理解できる。</li> <li>2. 認知(高次の心的活動)と記憶、コミュニケーションによる認知過程について理解できる。</li> <li>3. 目標を実現するための行動過程(動機づけ)、葛藤とフラストレーション、経験に応じた行動変容(学習)について理解できる。</li> <li>4. 発達段階と発達課題、それに伴う心理社会的様式について理解できる。</li> <li>5. 一人一人の個性を表すパーソナリティについて理解できる。</li> <li>6. 対人認知・対人関係から生じる心理・行動傾向について理解できる。</li> <li>7. ストレスとコーピング、適応のメカニズム、カウンセリングについて理解できる。</li> </ol>

事前学習・事後学習
事前学習：該当箇所を予習して授業に臨む。 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	◎		○			

回数	単 元	内 容	担 当 教 員
1	心理学とは	ガイダンス 心理学成り立ちの歴史	畑中
2	認知からの人間理解①	感覚・知覚の心理学	畑中
3	認知からの人間理解②	記憶の仕組み	畑中
4	認知からの人間理解③	言語の獲得とコミュニケーション	畑中
5	行動からの人間理解①	欲求と動機づけ、葛藤、適応	畑中
6	行動からの人間理解②	行動の学習	畑中
7	発達からの人間理解①	胎児～乳児の発達	畑中
8	発達からの人間理解②	幼児～老年期の発達	畑中
9	パーソナリティからの人間理解①	パーソナリティの種類と構造	畑中
10	パーソナリティからの人間理解②	知能の構造と検査	畑中
11	人間関係からの人間理解	他者の理解と社会からの影響	畑中
12	心理臨床からの人間関係①	ストレス心理学	畑中
13	心理臨床からの人間関係②	感情の成り立ちと働き	畑中
14	心理臨床からの人間関係③	心理臨床からの人間関係	畑中
15	まとめ	授業の振り返り	畑中

評 価	客観式試験(100点)のほか、レポートや授業への参加態度などを総合的に判断して評価する。
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 心理学 (医学書院)
参考図書等	
留 意 事 項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
教育学	講義	1単位	15時間	1年前期	諸岡 功明
実務経験のある教員による科目					

授業概要
人間形成における教育の意義と人間存在の普遍性と異質性を学ぶことで、看護の実践においても患者の多様な生活環境や個性を理解し、良好な関係の構築に寄与することを期待する。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育とは何か自分の意見を述べることができる。</li> <li>2. 近代学校制度について説明できる。</li> <li>3. 教育における学校の機能について説明できる。</li> </ol>

事前学習・事後学習
<p>事前学習：各課題について調べて授業に参加する。</p> <p>事後学習：テーマに沿って復習する。</p>

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
						◎

回数	単元	内容	担当教員
1	教育学とは	オリエンテーション 教育の原理	諸岡
2	子供の誕生	子供の誕生 「子ども」から連想されるものワークシート	諸岡
3	教育と人権	教育と人権	諸岡
4	近代学校制度	近代学校制度	諸岡
5	学校の機能	学校の機能	諸岡
6	社会教育と家庭教育	社会教育・家庭教育と学校教育の違い	諸岡
7	看護と教育	ケアと教育、教育と看護の相違点・共通点	諸岡
8	まとめ	授業の振り返り	山本

評価	客観式試験(80点)、課題レポート(20点)
テキスト	
参考図書等	
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
人間関係論	講義 演習	1単位	30時間	1年前期	上瀧 純一
実務経験のある教員による科目					

授業概要
人間関係を構成するのは自己理解と他者理解が必要である。自己をどのように理解し意識しているのか、また他者をどのようにとらえているかを知り、他者との関係形成について学修する。関係を理解するうえでコミュニケーションは不可欠である。コミュニケーションの特徴や機能について理解したうえで、個人や集団など様々なコミュニケーションについて考える。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間関係の概要について説明できる。</li> <li>2. 人間関係を構築していくためには自己理解と他者理解が必要なことを説明できる。</li> <li>3. 対人関係の成立とその意地について説明できる。</li> <li>4. コミュニケーションとは何か説明できる。</li> <li>5. コーチング、アサーティブコミュニケーションについて説明できる。</li> <li>6. 援助的人間関係について自分の意見を述べるができる</li> </ol>

事前学習・事後学習
事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む。 事後学習：当日のテーマに沿って授業の振り返りを行う。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	◎	○				

回数	単元	内容	担当教員
1	人間関係とは①	ガイダンス 人間関係とは、関係的存在としての人間	上瀧
2	人間関係とは②	人間関係のはじまり、人間関係の発達	上瀧
3	自己理解と他者理解	自己認知、対人認知	上瀧
4	対人関係①	対人関係の成立、対人関係の維持と葛藤、対人葛藤	上瀧
5	対人関係②	社会的役割、態度と対人行動	上瀧
6	対人関係③	人間関係の歪み	上瀧
7	コミュニケーション①	コミュニケーションとは	上瀧
8	コミュニケーション②	様々な場面のコミュニケーション	上瀧
9	コーチング	コーチングの理論とスキル、コーチングの定義 コーチングの効果と限界、コーチングスキル	上瀧
10	アサーティブコミュニケーション	アサーションの理論とスキル、アサーティブコミュニケーションとは	上瀧
11	保健医療チームの人間関係	医療におけるチームとは、チームワークとは、チームにおけるコミュニケーションエラー	上瀧
12	援助的人間関係①	援助的人間関係の構築	上瀧
13	援助的人間関係②	援助的人間関係の具体例を考える	上瀧
14	地域をつくる人間関係	ソーシャルサポートとは、ノーマライゼーション	上瀧
15	まとめ	授業の振り返り	上瀧

評価	客観式試験(100点)
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 (医学書院)
参考図書等	
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
倫理学	講義 演習	1単位	15時間	1年後期	国越 道貴
実務経験のある教員による科目					

### 授業概要

人が生きることのなかでの価値観について考えるとともに、看護職において適切な判断ができるための基本となる知識を学修する。

### 到達目標

倫理的問題を含む医療上の事柄について、一般に採用されているあるいは専門家に支持されている対処方法、およびその対処方法が取られる理由を説明することができる。

### 事前学習・事後学習

事前学習：該当箇所を予習して授業に臨む。  
事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	◎	○				

回数	単元	内容	担当教員
1	インフォームド・コンセント	医療のなかで新しく確立された最も重要な価値である「自己決定権の尊重」について学ぶ。	国越
2	ターミナル・ケア	今日「人生の最終段階の医療」といわれる領域について、その先駆者キューブラ・ロスからその意味を学ぶ。	国越
3	安楽死と尊厳死	安楽死と尊厳死が日本の現行法で容認されるための条件を確認し、特に本人の意思尊重の扱い方を学ぶ。	国越
4	臓器移植と脳死	臓器移植にかかわるなかで、人の死が脳死判定によって決められることの意味を学ぶ。	国越
5	出生前診断と人工妊娠中絶	人工妊娠中絶のうち、出生前診断による「選択的」と呼ばれる中絶について学ぶ。	国越
6	生殖補助医療	認められうる範囲、そして実施されて初めて明らかになった諸問題を学ぶ。	国越
7	医療資源の配分/ 看護師の倫理	医療倫理における4つの原理のうち、正義(公正)にかかわる「医療資源の配分」について学ぶ。また、看護師の職業倫理から特に守秘義務の意味について学ぶ。	国越
8	まとめ	授業の振り返り	山本

評価	客観式試験(100点)
テキスト	はじめて出会う生命倫理 (有斐閣アルマ)
参考図書等	
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
法学	講義 演習	1単位	15時間	1年後期	鎌田 厚志
実務経験のある教員による科目					

授業概要
人間の健康や生活は憲法によって保障されている。生活にかかわる人間の法的保護や基本的人権及び義務について学び、人々の権利を尊重する態度を養う。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法学の意義について説明できる。</li> <li>2. 家族法の概要と今日的課題について自分の意見を述べるができる。</li> <li>3. 労働法と今日的課題について自分の意見を述べるができる。</li> <li>4. 健保における基本的人権について説明できる。</li> </ol>

事前学習・事後学習
<p>事前学習：該当箇所を予習して授業に臨む。</p> <p>事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする。</p>

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
	◎	○				○

回数	単元	内容	担当教員
1	法学の意義	科学及び学問の基礎、法学の意義 法学論、私法概論	鎌田
2	民法総則	民法総則 物権法 債権法	鎌田
3	家族法	民法(家族法)	鎌田
4	消費者法 労働法 公法概論	消費者法 労働法 公法概論	鎌田
5	刑事法について	刑事法 法的責任論	鎌田
6	憲法について	憲法 情報法	鎌田
7	外国法 他	外国法 国際法 医療関係法規	鎌田
8	まとめ	授業の振り返り	山本

評価	客観式試験(100点)
テキスト	プレステップ法学(第5版) (弘文堂)
参考図書等	
留意事項	



授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
社会学	講義 演習	1単位	15時間	1年前期	日高 浩太郎
実務経験のある教員による科目					

### 授業概要

少子高齢社会、人口減少社会、情報化社会、無縁社会など我々が暮らしている地域社会に関する諸問題に対して検討し、現状を認識し再度見直すことによって、我々が生きる現代社会の諸問題についての幅広い考え方を身につけ、今後の社会について自らの視点をもって考えることができるように学修する。

### 到達目標

1. 社会学の概要を説明できる。
2. 近代社会の人口動態がもたらす問題を説明できる。
3. 社会の中の最小集団である家族についてその変容と課題について説明できる。
4. 現代社会の課題や諸問題について自分の意見を述べる事ができる。

### 事前学習・事後学習

事前学習：該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む。

事後学習：当日のテーマに沿って授業の振り返りを行う。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
		◎	○		○	

回数	単元	内容	担当教員
1	社会学とは	ガイダンス 社会学とは何か	日高
2	近現代社会①	近代社会と社会集団、家族、個人、近代社会と地位、役割について グローバル化とそれらが社会にもたらす影響	日高
3	近現代社会②	人口変動と高齢化、人口減少がもたらすもの 人口動向：流動型社会と限界集落	日高
4	近現代社会③	SDGS(持続可能な開発)とは？	日高
5	近現代社会④	近代と現代の違い(現代家族の特徴)	日高
6	近現代社会⑤	社会格差と平等、社会階層、ジェンダー	日高
7	近現代社会⑥	近代社会と病、情報化社会、無縁社会、 社会孤立・孤独死	日高
8	まとめ	授業の振り返り	山本

評価	客観式試験(100点)
テキスト	講師作成プリントを配布
参考図書等	なし
留意事項	評価に関しては、授業の参加度を考慮する。

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
文学	講義演習	1単位	30時間	1年前期	内田 友子
実務経験のある教員による科目					

**授業概要**

文学作品には書かれた時代や文化、作者の思いが色濃く反映されている。作品を読むことで訴えている内容について考え、感性を高め、また、発表や意見交換を通して、他者の受け止め方を尊重することでさらに深く理解したり考えたりできるように学修する。

**到達目標**

文学作品からそれが書かれた背景や、文化、時代について理解できる。  
「はなちゃんのみそ汁」から、作品が生まれた背景や家族の思いについて自分の意見を述べるができる。  
「あなたの声がききたい」から、障がいと人権について自分の意見を述べるができる。  
「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」から、なぜ人は支えあうのか自分の意見を述べるができる。  
「1リットルの涙」から、人を支える医療について自分の意見を述べるができる。  
「ソレがうつになりまして。」から、病と共に生活し、地域で暮らすことについて自分の意見を述べるができる。  
「博士の愛した数式」から、人間関係や認知症がある人への対応について自分の意見を述べるができる。

**事前学習・事後学習**

事前学習：該当作品を読んで授業に臨む。  
事後学習：授業を振り返りまとめを行う。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
		○	◎			

回数	単元	内容	担当教員
1	文学とは	授業ガイダンス 文化的産物としての文学、文学作品を鑑賞するとは	内田
2	文学作品と作者の歴史的背景	作品が書かれた時代背景 作者の生活と作品の関係について	内田
3	作品鑑賞①	「はなちゃんのみそ汁」を読んで読後感を発表	内田
4	GW	作品の登場人物の思いや背景、家族について(GW)	内田
5	作品鑑賞②	「あなたの声がききたい」を読んで読後感を発表	内田
6	GW	作品の登場人物の思いや背景、家族や人権・倫理について(GW)	内田
7	作品鑑賞③	「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」を読んで読後感を発表	内田
8	GW	なぜ人は支えあうのかを作品を通して考える(GW)	内田
9	作品鑑賞④	「1リットルの涙」を読んで読後感を発表	内田
10	GW	生きる希望やその人を支える医療について(GW)	内田
11	作品鑑賞⑤	「ソレがうつになりまして。」を読んで読後感を発表	内田
12	GW	長い闘病生活を支える夫婦が現実を受け止めながらどのように変化していったのか、日本人の罹患率1位の健康障害と現代社会との関係や地域で暮らすことについて(GW)	内田
13	作品鑑賞⑥	「博士の愛した数式」を読んで読後感を発表	内田
14	GW	認知症の人への対応について、人間関係について(GW)	内田
15	まとめ	授業の振り返り	内田

評価	課題レポートによる(100点)
テキスト	はなちゃんのみそ汁 (講談社)、あなたの声がききたい (株式会社佼成出版社)、こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話 (文春文庫)、1リットルの涙 (幻冬舎文庫)、ソレがうつになりまして。(幻冬舎文庫)、博士の愛した数式 (新潮文庫)
参考図書等	
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
文化人類学	講義 演習	1単位	15時間	1年後期	大坪 加奈子
実務経験のある教員による科目					

### 授業概要

文化人類学の基礎的な知識を学ぶと同時に、その知識を通して日常の文化現象を考察することができるようになる。また文化の多様性を理解し、他者を理解する姿勢をもつ。

### 到達目標

1. 文化の多様性を理解することを通して、他者理解の姿勢をもつことができる。
2. 家族のとらえ方、親族について説明できる。
3. 病気や死のとらえ方の多様性について説明できる。

### 事前学習・事後学習

事前学習：各課題について調べて授業に参加する。  
事後学習：テーマに沿って講義から復習・まとめをする。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
		○		◎		

回数	単元	内容	担当教員
1	文化人類学とは	文化人類学で学ぶこと	大坪
2	家族と親族	家族のなりたちと家族をこえたつながり	大坪
3	人生と通過儀礼	大人になること	大坪
4	宗教とは	宗教を考える 宗教と世界観	大坪
5	文化と病気	文化と病気/健康一身体・出産・治療	大坪
6	人間と死	人は死をどう考えてきたか 「死」と「文化」	大坪
7	文化人類学とフィールドワーク	文化人類学とフィールドワーク 現地から考える/現地で考える	大坪
8	まとめ	授業の振り返り	山本

評価	客観式試験(100点)
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 (医学書院)
参考図書等	
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
生活科学	講義 演習	1単位	15時間	1年前期	村江 史年
実務経験のある教員による科目					

### 授業概要

人間は社会の中の一員として存在し、生活を営む存在である。人間生活の基盤としての家庭生活、よりよい生活環境のあり方を科学的にとらえ、看護につなげられる能力を身につける。

### 到達目標

1. 人間生活とは何かを、生活構造の概念、生活水準、生活関係、生活時間、生活空間、生活行為などを通して理解する。
2. ウェルネス5領域を理解し、その人らしい健康な生活を送る意味を考えることができる。

### 事前学習・事後学習

事前学習：各課題について調べて授業に参加する。  
事後学習：テーマに沿って講義から復習・まとめをする。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
		◎		○		

回数	単元	内容	担当教員
1	生活環境とは	生活とは 生活環境と個人のアイデンティティ相互関係、生活主体としての「個」のありかた	村江
2	生活の社会化	家族が現代社会で抱える問題 生活の社会化の影響	村江
3	健康な生活	身体・精神・社会の三つの観点から健康な生活を考える 望ましい住環境について(GW)	村江
4	環境問題 生活習慣	科学技術の発展に伴って生じた環境問題と環境に依拠する「生活習慣」と健康の関係	村江
5	若年世代と高齢世代の共同性	「高齢者の暮らし」に焦点を当て、若年世代と高齢世代の共同性のあり方を検討	村江
6	高齢者・障害者の自立	「地域」の観点から高齢者・障がい者の自立に関わる共同	村江
7	ウェルネスとは何か ライフプランニング	人生のミッションとウェルネス 善く生きるとは	村江
8	まとめ	授業の振り返り	山本

評価	客観式試験(80点)、課題レポート(20点)
テキスト	
参考図書等	
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
地域の暮らし	講義 演習	1単位	30時間	1年前期	村江 史年
実務経験のある教員による科目					

授業概要
<p>地域の人々の健康の維持・増進を支援するために地域はどのような人々で構成され、どのような環境の中で生活をしているのか、人々の生活実態と地域の健康問題との関連を学修する。具体的には、近隣校区の人口統計など既存資料から分析し、地区の概況をとらえ、地区踏査を行う。さらに、地域の住民組織の代表者にインタビューを行い、住民組織の活動を知るとともに住民組織活動から見える住民の健康生活の特徴や課題について把握できるように学修する。地域の健康課題を捉える視点や、地域の人々の健康の維持・増進、QOLの向上について学ぶ。</p>

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域をとらえるための情報の要点について説明できる。</li> <li>2. 地域の人口構成や地理的条件や歴史や文化などの生活条件の把握、健康指標の分析ができる。</li> <li>3. 地区踏査を通して地域の雰囲気や地理的状况や暮らしぶりを直接観察し、情報を集め説明できる。</li> <li>4. インタビューを通して地域住民の健康意識や保健行動の特徴、住民組織とその活動について説明できる。</li> <li>5. 地域の健康課題と健康の維持・増進について自分の意見を述べるができる。</li> </ol>

事前学習・事後学習
<p>事前学習：該当箇所を予習して授業に臨む。 事後学習：当日の該当テーマに沿って講義から復習・まとめをする。</p>

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
		○		◎		

回数	単元	内容	担当教員
1	地域プロジェクトとは	ガイダンス ポートフォリオの基本 福岡県の歴史と文化 水巻町の歴史と文化	村江
2	地域のとらえ方	地域診断における情報収集の方法 地図情報からみた地域の特徴	村江
3	地域のとらえ方	校区データをもとに担当する地域の人口、世帯数、死亡率、健康受診率などを整理(GW)	村江
4	資料からみる地域特性②	校区データをもとに担当する地域の人口世帯数、死亡率、健康受診率などを分析(GW)	村江
5	資料からみる地域特性③	担当地域についてのプレゼンテーション	村江
6	地区調査①	地区視診ガイドラインの説明	村江
7	地区調査②	担当する地域の地理的特徴や社会資源状況等を調べ、地区調査の計画立案(共有化)	村江
8	地区調査③	担当地域でのフィールドワークを実施	村江
9	地区調査④		
10	地区調査⑤	作成した地区マップを用いながら踏査地区の特徴についてプレゼンテーション	村江
11	地域をつくる人や組織	地域の住民組織や育児など共通の問題をもつグループ、ボランティア組織等の説明	村江
12	地域をつくる人や組織	インタビュー技法、地域の住民組織へのインタビュー内容の計画書を作成	村江
13	地域をつくる人や組織	地域の保健活動推進員、民生委員、生活支援コーディネーター、主任児童委員、自治会、シニアクラブの方へインタビュー	村江
14	地域をつくる人や組織	地域住民のインタビュー結果について発表	村江
15	地域の健康上の課題と解決方法について	レポート作成	村江

評価	プレゼンテーション(50点)、レポート課題(50点)
テキスト	
参考図書等	
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
国際関係論	講義 演習	1単位	15時間	1年後期	花松 泰倫
実務経験のある教員による科目					

### 授業概要

グローバル化が急速に進行している現在、世界各地で発生している問題は1国のみの問題ではなく、複数の国々や組織などの関係の上で成り立っている。現在では、他国や他地域で起きた様々な問題は、自分の身近なところに直結し生活に影響している。こうした状況を踏まえて、本科目では、具体的な国際問題を検討することを通して世界で起きている問題や日本の果たす役割について学修する。

### 到達目標

1. 国際社会の仕組みや国際機関の役割を説明できる。
2. 世界が抱える紛争問題について説明できる。
3. 世界が抱える環境・エネルギー問題について説明できる。
4. 世界が抱える貧困と格差について説明できる。
5. 国際的な人の移動について説明できる。
6. 世界の抱える問題と日本が抱える問題の相互関連について説明できる。
7. 問題解決の取組みにおける日本の役割について説明できる。

### 事前学習・事後学習

事前学習: 事前学習: 該当テーマについて自主的に調べて授業に臨む。  
事後学習: 当日のテーマに沿って授業の振り返りを行う。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				◎	○	

回数	単元	内容	担当教員
1	国際関係論概要	授業ガイダンス 国際関係論とは? 国際社会の成立	花松
2	国際社会の仕組みとイメージ	外交、国際法、勢力均衡、現実主義、自由主義	花松
3	国際協力とODA	国際協力、国際機関、国連、WHO、日本のODA	花松
4	世界が抱える紛争問題	戦争、内戦、テロ、核、平和構築、日本の安全保障	花松
5	世界が抱える環境問題	気候変動、温暖化、生態系、水資源、エネルギー、プラゴミ	花松
6	国際的な人の移動	移民、難民、日本の外国人労働者、技能実習生	花松
7	世界が抱える貧困と格差	グローバル化、貧困と格差、日本の貧困	花松
8	まとめ	授業の振り返り	山本

評価	客観式試験(100点)
テキスト	なし
参考図書等	小田桐確ほか(編)『ワークブック国際関係論: 身近な視点から世界を学ぶ』 ナカニシヤ出版、2018年
留意事項	

授業科目名	授業形態	単位	時間数	配当年次	担当教員
医療英会話	講義 演習	1単位	30時間	1年前期	フィリップス・グレゴリー
実務経験のある教員による科目					

### 授業概要

英語の苦手意識を払拭し、外国語を学ぶ楽しさを実感できるように学ぶ。医療系の学生として、将来看護の現場で役立つ英語力を体得する。わからないことはわからないとはっきり表現し、なおかつ落ち着いて問題解決に挑戦できる英語表現のスキルを学修する。

### 到達目標

1. 英語で自己紹介ができる。
2. 身体各部位や各診療科について英語でリーディング・ライティングができる。
3. 症状について英語でリーディング・ライティングができる。
4. 症状について問いかけができる。
5. 検査時の簡単な説明ができる。

### 事前学習・事後学習

事前学習:各課題について調べて授業に参加する。  
事後学習:テーマに沿って講義から復習・まとめをする。

対応ディプロマポリシー	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
				◎		

回数	単元	内容	担当教員
1	自己紹介	自己紹介、テキストunit1、発音記号母音① 英作文NO.1 英文法(一般動詞、Be動詞)	フィリップス
2	Text unit1、2	発音記号test① 自己紹介 発音記号② 英作文NO.1 Text unit1、2	フィリップス
3	英作文NO.2	発音記号test② 自己紹介 発音記号③ 英作文NO.2	フィリップス
4	Text unit3 英文法「現在完了」	発音記号test③ 自己紹介 発音記号④ Text unit3 英文法「現在完了」	フィリップス
5	Text unit4 診療科名の発音記号	発音記号test④ 自己紹介 発音記号⑤ Text unit4 診療科名の発音記号	フィリップス
6	Text unit4 unit5 英会話発表	発音記号test⑤ 自己紹介 発音記号⑥ Text unit4 unit5 英会話発表 発音記号の読み方	フィリップス
7	Text unit5、unit6	発音記号test⑥ 自己紹介 発音記号の読み方NO.3 Text unit5、unit6 英文法 現在完了	フィリップス
8	Text unit6	自己紹介 発音記号の読み方NO.6(症状) Text unit6 英文法 現在完了 VヴァリNo.3(英作文)	フィリップス
9	unit7 身体部位 英文法 疑問詞	自己紹介 unit7 身体部位 英文法 疑問詞 発音記号の読み方NO.7	フィリップス
10	Unit7 Skit発表 unit8	Unit7 Skit発表 unit8 英文法 受動態 unit1～unit4の暗唱分復習	フィリップス
11	Unit8 Skit発表 unit9	Unit8 Skit発表 unit9 発音記号NO.8 英文法受動態 VヴァリNO.4	フィリップス
12	Unit9 skit発表	Unit9 skit発表 unit9、VヴァリNO.4 Unit2の小テスト	フィリップス
13	Unit10検査に関する表現 模擬試験 NO.1	VヴァリNO.4の確認 発音記号NO.9 Unit10検査に関する表現 模擬試験 NO.1	フィリップス
14	模擬試験	模擬試験 NO.2	フィリップス
15	まとめ	授業の振り返り	フィリップス

評価	客観式試験(100点)
テキスト	クリスティーンのやさしい看護英会話 (医学書院)
参考図書等	
留意事項	